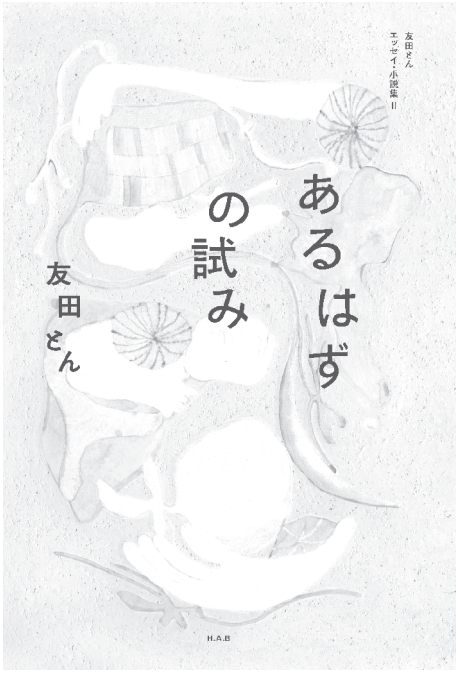


棚の奥の板にそっと掌を置いてみた。
なんと、板自体から
じわじわっと
ぬくもりが
伝わって
きた。

いつたいてい、
この本屋さんの棚の向こう側に
何があるというのか？

『『百年の孤独』を代わりに読む』（ハヤカ
ワ文庫）、『『手に負えない』を編みなおす』
（柏書房）などの著書がある、友田とんの
最新作品集。
本屋の文芸誌にあった、実際に温度を感じ
る「ぬくもり」。
追悼文「宮沢章夫さんのこと」。
村上春樹の新刊発売に並んだときの勘違い
から呼び起こされる作家論。
電車になりきった幼少期の思い出と、時刻
表を復元する試み。／



装画：土屋未久

「牛乳のパックの成分表示「殺菌 120℃
2 秒間」の謎、そしてその「あるはずのな
い後日譚」。
日常のふとしたことに可笑しさを見出し、
文章を紡ぐ。シリーズ連載「本屋に行く」
ほか、各媒体で書かれたエッセイ、小説を
精選して収録。前作『ナンセンスな問い』
から三年。「ナンセンス」な「問い」かけから、
少しだけはみ出し動き始めた「あるはず」
の「試み」。

あるはずの試み 友田とん エッセイ・小説集Ⅱ

友田とん（ともだ・とん）
作家、編集者。1978 年京都市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒、同大学大学院理工学研究科博士課程修了、博士（理学）。企業で研究開発に従事するかたわら、2018 年に『『百年の孤独』を代わりに読む』を自主制作（2024 年にハヤカワ文庫 NF より再刊）。同書を全国の本屋さんへ営業したのを契機に、ひとり出版社・代わりに読む人を立ち上げる。日常や文学に可笑しさを見つける作品を発表しながら、独特の視点を持つ様々な著者の小説やエッセイを刊行する。著書に『『手に負えない』を編みなおす』（柏書房）、『ナンセンスな問い』（エイチアンドエスカンパニー）、『先人は遅れてくる』『パリのガイドブックで東京の町を闊歩する』（代わりに読む人）、『ふたりのアフタースクール』（太田靖久氏との共著、双子のライオン堂）などがある。

取次：トーハン、日販、楽天BN、鋤谷書店ほか、どの取次からでもご注文いただけます
(返品条件付注文扱い、返品了解：ツバメ出版流通・川人)

▶ご注文先 H.A.B		TEL：090-1287-4701	FAX:03-4243-2748	http://habookstore.com mail:hello@habookstore.com
番線印	ご注文数	エイチアンドエスカンパニー(H.A.B) 9 月下旬搬入予定		
ご担当： 様		あるはずの試み 友田とんエッセイ・小説集Ⅱ 著：友田とん ¥2,200+税 224頁 ISBN 978-4-910882-13-0 C0095 四六判(少し小さめ)上製		
		(既刊) ナンセンスな問い 友田とんエッセイ・小説集Ⅰ ¥2,000+税 224頁 ISBN 978-4-910882-01-7 C0095 四六判上製		